モーツァルト・サロン会報 NO.88

第88回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ
「北村明日人ピアノリサイタル」特集

2024 年 6 月 23 日号

圧巻の演奏「テレーゼ」

ご挨拶

本格的に梅雨入りし、湿度の高いジメジメした日々が続いておりますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

さて、モーツァルト・サロンでは 6 月 23 日(日)14:00 より「北村明日人ピアノリサイタル」が開かれました。北村さんは昨年初登場されて、大好評でしたので、2 度目の登場となりました。今年はバッハからリストまでの幅広い曲を取り揃え、新しい魅力を披露してくださいました。

第 1 曲目は「バッハ:フランス組曲 第 6 番」。誠実で、舞曲らしく弾むような演奏に心も身体も浮き浮きしてきました。演奏後はご挨拶と曲の説明がありました。

【ご来場頂きありがとうございます。去年もここで演奏させて頂いて、その時はベートーヴェンとブラームス、二人の作曲家の作品だけお届けしたんですけど、今回は同じドイツ音楽の中で、違う作曲家にも光を当ててみようということで、新しくシューマンとリストにも―自分の中では結構新鮮であまり弾かないんですけど―チャレンジしようと思って後半のプログラムに入れています。まず前半、最初にお聴き頂いたのがバッハのフランス組曲第6番。結構子供でも弾くような易しめな曲なんですけど、「フランス組曲」という名前自体はバッハが付けたものではなくて、後の楽譜の編集者がわかりやすいように「フランスっぽいよね」みたいな感じで、踊りの曲はいっぱい入ってるし、その当時のルイ 14 世(太陽王と呼ばれた)だったり、そういった人たちの華やかなイメージがあるところから、フランス組曲というふうにまとめられて、その中でも最大の規模をもっているのが、今演奏した第 6 番です。次に 2 曲、ベートーヴェンのソナタを演奏するんですけど、こちらは中期の作品になっています。“テレーゼ”というのはベートーヴェンとすごく親しかった女性の名前。“告別”の方は、これもまたすごく親しくしていて、ウィーンにベートーヴェンがいる時に、ずっとパトロンで金銭的な援助をしてくれたルドルフ大公という方がいるんですけど、ナポレオンがウィーンに侵攻してきて、国外に逃げないといけないという時に丁度書いていたソナタ。第一楽章に“告別”という風に書いてあって、もう二度と会えないんじゃないか、みたいなそういった想いが最初の 3 つの音に込められています。第二楽章、第三楽章に “不在”それから“再会”というふうに副題が付けられていて、楽章を追うごとにストーリーも展開されていくという、結構ユニークな曲になっています。前半はこのベートーヴェンのソナタを 2 曲お楽しみください】。

北村さんと言えば「ベートーヴェン」というイメージがありますが、メリハリがあり、温かな演奏に終始惹きつけられました。

後半は、「ハイドン:ピアノ・ソナタ第 26 番 変ホ長調」幕を開けました。北村さんの演奏を聴いて、この曲が名曲だったのだと認識を新たにしました。そして、演奏後にお話がありました。

【後半は前半でも言ったように、ちょっと自分でも挑戦してシューマンとリスト。あとハイドンも―中々自分では弾かないんですけど―三人並べて弾こうかなという風に思っています。ハイドンはずっとウィーンで活動していて、今の作品もウィーンで書きました。前半に弾いた告別が、ナポレオン侵攻の時に書かれ、今から演奏するシューマンのウィーンの謝肉祭というのは、その侵攻が終わった後、政治的には、メッテルニヒ政権の時で、検閲が厳しかったりとか、表現、音楽活動、芸術活動も、色々な事をしたいのに出来ない、そういったすごい抑圧されたところに、シューマンがたまたまウィーンに行って、本当は移住も考えていたんだけど、そういった弾圧を目にして、やっぱり止めようとなって。すごい短い間なんですけど、ウィーンに滞在していて、その時に書かれた作品です。それと最後に演奏するリストのオーベルマンの谷という曲なんですけど、これも色んな改訂版が出回っておりまして、40 年か 30 年くらい前にも新しい、(同じオーベルマンの谷の主題を使って)、ほぼほぼ一緒なんだけどトリオが出てきたみたいなニュースがあったり、まだ比較的新しくて、中々演奏されてないものなんですけど、そういったものが、色んな、3 種類 4 種類くらいあるような曲で、たぶんリストもお気に入りだった曲です。この曲は「巡礼の年 第 1 年:スイス」という曲集に入っていて、20 代の時にリストが旅行をして、スイスに行ったんですけど、その時に見た自然に感動した体験を曲にしたものになっていて。その中でもすごく規模の大きいもの、単体で弾かれることも多い曲です。後半もお楽しみください】。

そして、華麗な 2 曲を弾き終わって、沢山の拍手と花束が贈られました。そして、お礼のお言葉がありました。

【盛り盛りのプログラムだったんですけど、長時間ありがとうございました。今日のプログラムでお分かり頂けたら嬉しいんですけど、すごくドイツものが好きでして、これからもベートーヴェン、ブラームス、シューマン、リスト辺りを勉強していこうと思っているので、またこういう機会があれば、是非聴いていただければ嬉しいです。最後にアンコールで、もう一回、一番最初のですね、フランス組曲から1曲お届けしたいと思います。本日はどうもありがとうございました】。

アンコールは「フランス組曲第 6 番 サラバンド」。静かでこの上なく美しく演奏され、それまでの熱気が静かな感動へと移りました。

北村さんの音は,どんな所でも真芯を捉えていて、強い音もとても美しいのが驚きです。その音から生まれる、細かくアナリーゼされて構築された音楽と歌心溢れる演奏はお客様の心に深い感動を与えました。今後の益々のご活躍をお祈り致します。

一般社団法人 国際育英文化協会
代表理事 伊藤美保子

アンケート集計結果　ご協力ありがとうございました。

1.本日のリサイタルについてのご感想をお聞かせください。

a.チケット料金について　□高い 0　□やや高い 0 □適正 13 □やや安い 4 □安い 2

b.モーツァルト・サロンの印象はいかがでしたか　□非常に良い 9 □良い 11 □普通 0 □やや悪い 0 □悪い 0

c.スタッフの対応はいかがでしたか　□非常に良い 13 □良い 5 □普通 2 □やや悪い 0 □悪い 0

d.プログラムの中で良かった曲をお教えください（何曲でも可）

□バッハ：フランス組曲　第6番　11

□ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ　第24番　嬰ヘ長調「テレーゼ」 9

□ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ　第26番　変ホ長調「告別」 14

□ハイドン：ピアノ・ソナタ　第53番　ホ短調　9

□シューマン：ウィーンの謝肉祭の道化芝居「幻想的情景」 12

□リスト：「巡礼の年　第1年：スイス」S.160よりオーベルマンの谷　9

□アンコール曲　6

2.北村明日人さんへ激励のメッセージをお願いします。

♪いつもありがとうございます。またレッスン楽しみにしています。よろしくお願いします。久々にコンサートうかがえて楽しかったです。いつもありがとうございます。

♪ピティナ特・セミからずっとお聴きしております。ベーゼンドルファー・スタジオ、昨年のモーツァルト・サロン、みなとみらいのミニコンサート、マニラの大学ピアノサークルの仲間がピティナでのベートーヴェン4番の協奏曲（2台ピアノ版）を聴いて、推奨されてピティナ・ゼミにおじゃましました。私もドイツ音楽とモーツァルト・シューベルトが一番好きです。作曲家降臨がいつも圧巻です。

♪私もベートーヴェンのピアノ・ソナタが好きで、北村さんがピティナで弾いていた「テンペスト」が自分の中で衝撃的で1日3回は聴くほど本当に大好きです♪今まさに「テンペスト」を練習中で北村さんみたいな演奏が出来るように頑張っています！！これからもたくさんの演奏楽しみにしています♡今日はとても有意義な時間になりました！ありがとうございました♪♪

♪いつも素敵なピアノ演奏を聴かせていただきありがとうございます。北村さんの誠実で自然なピアノが大好きです。またいろんな曲を聴かせていただく機会を楽しみにしています！

♪表参道パウゼで聴かせて頂いたベートーヴェンソナタNo.6が素晴らしく、主人と共に今日楽しみにしておりました。伸びやかでニュアンスに富んだ演奏をこれからも拝聴したいです。益々のご活躍を心よりお祈りしてります。

♪とても素敵な演奏を聞けて幸せでした。ありがとうございます。これからも応援しています！

♪いつも、本当にすてきな演奏、ありがとうございます。ピアノってすてきな楽器で、こんなに音楽がすてきだと思える時間をありがとうございました。

バッハ：フランス組曲
17 世紀のサロンのような雰囲気が。

人懐っこく、優しい口調でのご挨拶と説明。

テレーゼ
お得意のベートーヴェン

告別
初めの 3 つの音に思いが込められています。

告別
名演奏に会場は感動に包まれました。

♪全部めっちゃすてきでした！表げんが大きくて、おとも大きい音、軽くひいていて、すごいなと思いました！ありがとうございました！
♪以前、ブラームスを聴きました。すばらしかったです。ドイツものが好きなことが伝わります。また聴かせていただきたいと思います。
♪本日は素晴らしい演奏をありがとうございました。以前からYoutubeでよく演奏をお聴きしていたので、初めて生でお聴きすることができて嬉しかったです。12月のコンサートも楽しみにしています。
♪2回目のコンサート鑑賞でしたが、今回も魂がゆさぶられ感動しました。今後、モーツァルト・サロンで聴くことが出来ないので残念です。すばらしい鑑賞ができたのでとても感謝です。これからも精進して下さい。
♪とても素敵な演奏でした！すっかり北村さんの音楽の世界に入れていただいた気持ちになりました。大好きなシューマンも、いつもきくリヒテルのようにすてきでしたし、ベートーヴェンはピアノをきいていて初めて胸が熱くなりました。これからも演奏会に伺いたいと思います！がんばって下さい！！ありがとうございました。
♪本日は、すてきなコンサートありがとうございました。当日の朝にも関わらず、チケットをありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。北村さんのコンサートは、南青山スタインウェイとモーツァルト・サロンで2回目です。きれいな音色にとても感動しました。P、trの音が心に残りました。私もピアノを学び直したいと思いました。家ではいつも北村さんのCDを聴いています。またコンサート楽しみです。
♪大変力強い演奏と素晴らしいテクニック、益々の御活躍を期待してます！すごい大作ばかり。感心しました！
♪私もドイツの作曲家、曲が好きなので今後もまた聴きたいです。がんばって下さい！
♪Youtubeで拝見しました。北村さんのベートーヴェンのピアノを聴いて良いと思いました（普段あまりベートーヴェンは聴かないので・・・）。自身はフルートを少し吹いていましたが、最近はピアノを聴くのが好きです。これからのご活躍も楽しみにし ご活躍されることを願っております。
♪クリスマスのろうどくの時にお世話になりました。（アヴェ・マリア）以来、北村明日人さんのピアノの大ファンです♡
♪情熱がほとばしる演奏をありがとうございました。バッハはとても繊細で、舞曲の様式が美しく弾かれていました。ドイツの各時代の様式感がよく表れていてきれいでした。今後共楽しみにしています！
♪なんとロマンティックなベートーヴェンでしょう！fもピアノの音が芯から響き、ピアノが喜んでいるようです。大きいホールではなく、間近で生の音、生き生きと奏でられる音楽にふれることができ、感動いたしました。ありがとうございました。今後、世界中でご活躍されることを願っております。
♪バッハの演奏では、優しいピアノの響きというか、リラックスして聴かせて頂きました。ベートーヴェンの「告別」は力強い響きで、梅雨空の時期に元気が取り戻されるような気分でした。すばらしい演奏をつづけていかれるよう、期待しております。

北村明日人さんを迎えて当サロンでは２回のコンサートを開催致しました。昨年出演をオファーした時点ではもう少し続ける予定でしたが、今年の年頭にコンサートシリーズを打ち切ることを決意しました。このように前途有望なピアニストを迎えたからには、もっと続けたかったという思いでいっぱいですし、お客様からも残念というお言葉を沢山頂きました。陰ながら、これからも北村さんの応援を続けていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

ハイドン
この演奏を聴いて、名曲だったんだと思いました。

後半には新しいレパートリーである
シューマンとリストを入れました。

シューマン
ウィーンに短期間滞在した時に書かれました。

リスト
スイスの自然に感動して書かれました。

アンコール
静かに魂に語りかけます。

会場中が感動に包まれました。

♪:*:・:*:♪・:*:・:*:♪　モーツァルト・サロン　今後のコンサート　♪:*:・:*:♪♪・:*:・:*:♪

第 89 回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

根津理恵子ピアノリサイタル　チケット発売中！

～ワルツ全 19 曲でたどるショパンの足跡～

2024 年 10 月 13 日(日)14:00 より　入場料:3,000 円

ワルツ第 10 番 ロ短調 Op.69-2/ワルツ第 13 番 変ニ長調 Op.70-3/ワルツ第 15 番 ホ長調 遺作

ワルツ第 16 番 変イ長調 遺作/ワルツ第 17 番 変ホ長調 遺作/ワルツ第 14 番 ホ短調 遺作

ワルツ第 3 番 イ短調 Op.34-2「華麗なる円舞曲」/ワルツ第 11 番 変ト長調 Op.11

ワルツ第 1 番 変ホ長調 Op.18「華麗なる大円舞曲」/ワルツ第 2 番 変イ長調 Op.34-1「華麗なる円舞曲」

ワルツ第 9 番 変イ長調 Op.69-1「別れ」/ワルツ第 4 番 ヘ長調 Op.34-3「華麗なる円舞曲」

ワルツ第 5 番 変イ長調 Op.42「大円舞曲」/ワルツ第 18 番 変ホ長調「ソステヌート」/ワルツ第 12 番 ヘ短調 Op.70-2

ワルツ第 6 番 変ニ長調 Op.64-1「小犬」/ワルツ第 7 番 嬰ハ短調 Op.64-2/ワルツ第 8 番 変イ長調 Op.64-3

ワルツ第 19 番 イ短調 遺作

※下記公演は全て 14:00 開演です。

第 90 回 2024 年 12 月 22 日(日)佐藤卓史ピアノリサイタル　入場料:3,000 円

第 91 回 2025 年　2 月 23 日(日)東京混声合唱団のメンバー(8 人)によるコンサート　入場料:3,000 円

(BS テレビ朝日「子どもたちに残したい美しい日本の歌」出演中

ピアノ:魚谷絵奈

チケットのご購入:　お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人　国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。又、事務所で現金購入も承ります。

ゆうちょ銀行　❶ゆうちょ銀行からのお振込み:記号 10150　番号 70038231
❷他の金融機関からのお振込み:店番 018　普通預金 7003823

みずほ銀行　赤羽支店　普通預金 2093151

※ クレジットカード決済をご希望の方は Pass Market よりご購入いただけます。
詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お知らせ

2010年9月23日にスタートいたしました「モーツァルト・サロン　コンサートシリーズは
2025年2月23日のコンサートを以て、終了することになりました。
長い間、モーツァルト・サロン コンサートをご支援頂きました皆様には心より感謝いたします。
まだ3公演がございますので、是非ご来場を賜りますよう、お願い申し上げます。

モーツァルト・サロン ピアノ教室

指定の月・火曜日

青木沙耶花先生

スタインウェイB(生徒さんが使用)、ヤマハC5でレッスンをするワンランク上の個人レッスン。
コンチェルトや2台ピアノの曲も可能です。
音大卒の方の学び直し、ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

・月額制 ：10,000円～(30分～/ 年40回)
・1レッスン制 ：60分(6,000円)、 90分(9,000円)

魚谷絵奈先生

お問い合わせ：一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-005 東京都北区赤羽1-54-5メトロAIビル５F

TEL：03-5939-9535（営業時間：平日9：00～17：00）

HP：http://www.kokusai-ikuei.jp/（右の QR コードを読み取ってください）

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。